

分かち合いたい。何かのお役にたてれば」と支援への思いを話した。

同教区の栄俊英教務所長が法話。シンガー・ソングライターのやなせななさんが被災地を励ます歌などを披露した。

## 支援法座を開く

### 大阪・南郡組

大阪教区南郡組そと同組仏教婦人会は6月4日、毎年行う仏婦・若婦聞法の集いを「東日本大震災支援法座」として開いた。会場の貝塚市・願泉寺には300人が参拝、被災地支援への思いを新たにすると共に、義援金を募り、35万6020円が集まった。

楠本海量組長は「私たちは今、大切なことは、被災者の方々の心に寄り添い、思いを分かち合うこと」と挨拶。同組仏婦の野口満寿子会長は「親鸞聖人はどんなときも一人ではない、阿弥陀さまと一緒に教えてくださった。私たちも被災地の方々と共に泣き、悲しみを